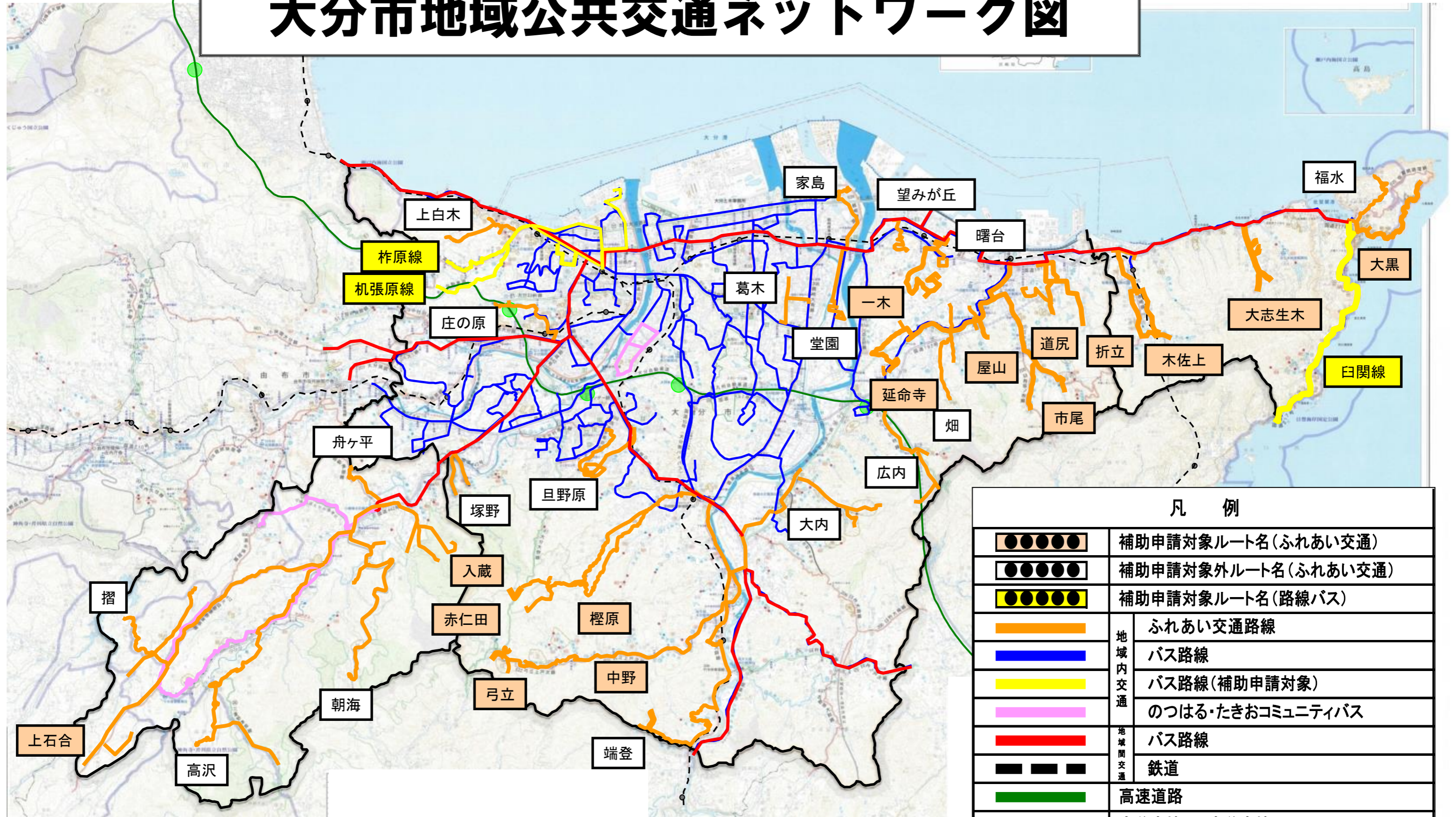


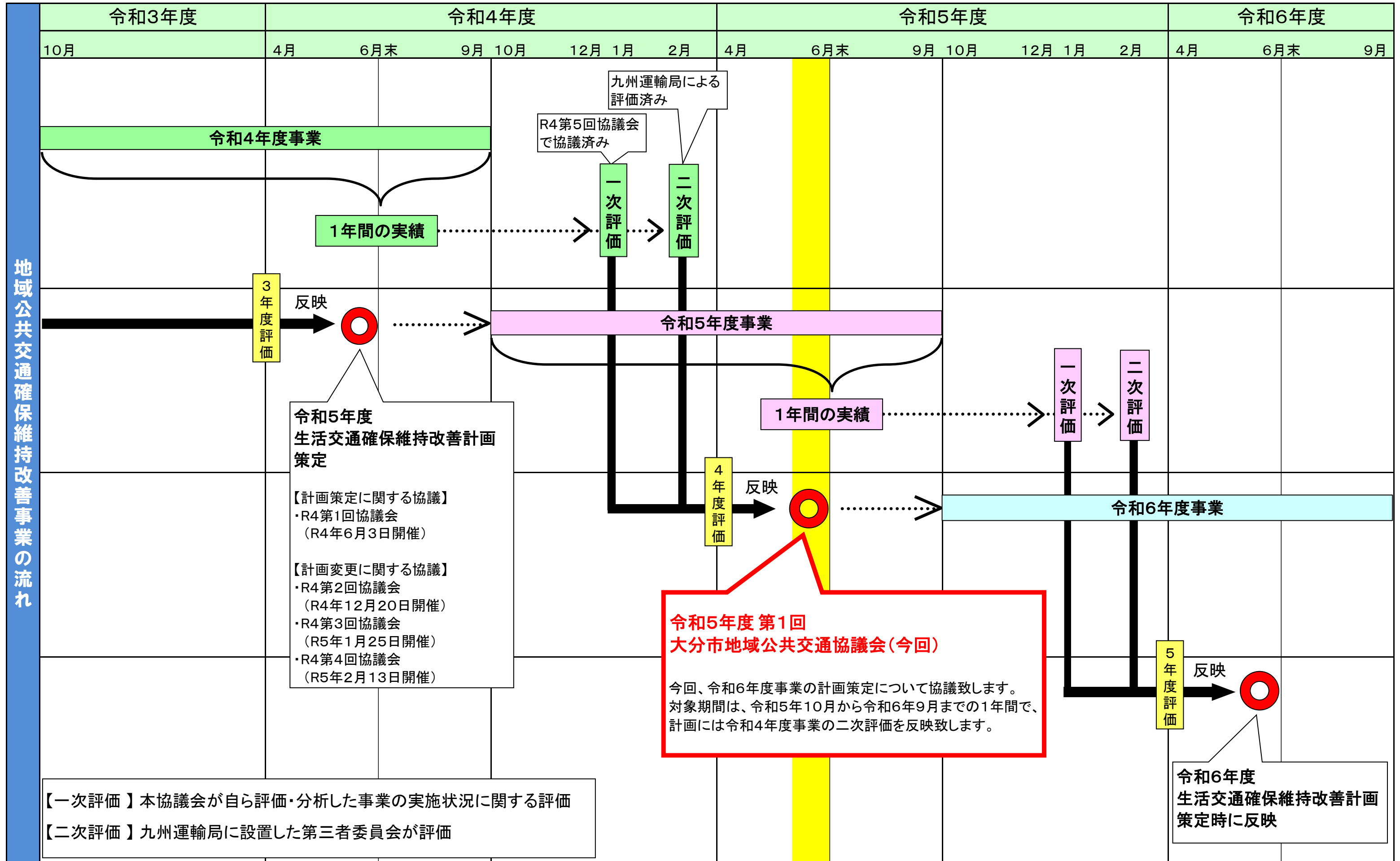
**(2) 令和6年度生活交通確保維持改善計画の策定について  
【大分市地域内フィーダー系統確保維持計画】**

# 大分市地域公共交通ネットワーク図



凡 例	
●●●●●	補助申請対象ルート名(ふれあい交通)
●●●●●	補助申請対象外ルート名(ふれあい交通)
●●●●●	補助申請対象ルート名(路線バス)
—	ふれあい交通路線
—	バス路線
—	バス路線(補助申請対象)
—	のつはる・たきおコミュニティバス
—	バス路線
—	鉄道
—	高速道路
—	大分市境、旧大分市境

「地域公共交通確保維持改善事業」に係る事業評価制度について



### 概要

#### 【ふれあい交通運行事業】

運行主体: 大分市タクシー協会

本市の公共交通は、大分駅を中心に、鉄道が東西にJR日豊本線、南北にJR豊肥本線及びJR久大本線が敷設し、路線バス網が郊外に向かって放射状に伸びている。また、公共交通の利用が不便な地域では、コミュニティバス「ふれあい交通」を運行している。

現在、32路線を運行中の「ふれあい交通」は、交通の不便な地域からバス停まで繋いでおり、そこから路線バスに乗り換えれば市内中心部まで移動可能なネットワークを形成している。

主な利用者は高齢者で「長寿応援バス※」の制度を利用し、バス停でバスに乗り換えて移動している。また、スクールバスの代替として、一部路線で通学便を運行しており、小学生に利用されている。

※市内に住む68歳以上の高齢者が、市内の路線バスを利用する際、市が発行する「長寿応援バス乗車証」をバスの乗務員に提示することで、市内一律1乗車につき、利用者負担額150円(現金)で乗車できる制度。

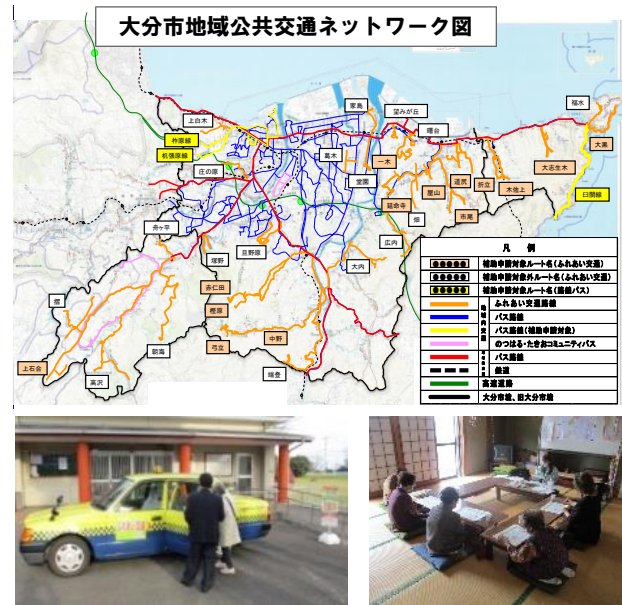
#### 【生活交通確保維持事業】

運行主体: 臼津交通株式会社、大分交通株式会社

本市の路線バスにおいては、交通事業者を取り巻く経営環境が厳しさを増すなか、利用者が少ない不採算路線については、交通事業者単独による維持が困難となっている。

平成31年2月より臼津交通(株)の臼関線(佐賀関～下浦間)に支援を開始し、令和2年4月より大分交通(株)の机張原線、柞原線、大分市内線に支援を開始した。

通勤や通学等にも利用されており、沿線住民にとって欠かせない移動手段である。



### 計画、目標(Plan)

本市の郊外においては、公共交通の不便な地域が存在し、住民の日常生活の移動手段を確保する必要性は増大している。

このような中、本市では、公共交通の不便な地域において、住民の日常生活の移動手段を確保し、地域公共交通の確保及び維持を図ることを目的として、「ふれあい交通運行事業」及び「生活交通確保維持事業」を実施している。

### 生活交通確保維持改善計画等の取組み(Do)

#### 【ふれあい交通運行事業】

実際の利用者が参加する「地域検討会」を路線ごとに開催し、前年度の利用状況の確認や、意見交換を行った。検討会の中で利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルートや時刻表を変更した。

#### 【生活交通確保維持事業】

沿線住民との意見交換会を開催し、バス会社の現状やバス利用が低迷している旨を説明し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行った。また、沿線の住民に対し、路線維持のためのバス利用のお願いを掲載した時刻表や、「バスどこ大分」や休日ファミリー割引などバス利用時のお得な情報を掲載した「公共交通情報ナビ」を回覧、配付した。

### 実施状況、目標の達成(Check)

#### 【ふれあい交通運行事業】

- ① 目標利用者数8,000人/年に対して、8,389人(達成率104.9%)であった。
- ② 目標稼働率(実績運行日数/運行可能日数)45%以上に対し、59.0%であった。
- ③ 目標地域検討会開催回数1ルートにつき1回以上(計30回以上)に対し、27回の開催であった。
- ④ 目標説明会等の参加者数400人以上に対して、356人であった。

#### 【生活交通確保維持事業】

- ① 目標利用者数62,354人/年に対して、82,485人(達成率132.3%)であった。

### 今後の課題、対応(Action)

#### 【ふれあい交通運行事業】

- 路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続して開催し、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行う。
- 「運行説明会」を開催し、地域全体へ、制度や利用方法、運行計画の周知及び利用促進を図る。
- 引き続き、停留所に標柱・ベンチの設置を進め、利用環境の向上を図る。
- 制度紹介や利用状況報告のチラシを回覧するほか、地域への制度説明会を開催する等、広報活動を行うことで、地域全体への周知を図り、新規利用者の拡大に繋げる。

#### 【生活交通確保維持事業】

- 意見交換会開催後の利用状況の変化について効果検証を行う。利用状況やバス時刻表を回覧配布し、路線バス維持のためのバス利用の意識づけを行う。
- 沿線施設に最寄りの停留所の時刻表を設置するなど、バス利用の利便性の向上と周知を行う。

### 基礎データ

合併状況: 平成17年1月に1市2町が合併

人口: 47万6556人 (令和4年12月31日現在)

面積: 502.39平方キロメートル

過疎地域等指定: 過疎地域とみなされる区域のある市町村

高齢化率: 28.1% (令和4年12月31日現在)

補助対象の系統数: 27系統(確保維持事業のみ)

自治体負担額: R2:21,581千円、R3:32,786千円、R4見込36,712千円(確保維持事業のみ)

協議会開催数: 協議会7回、書面報告1回(令和3年4月～令和4年3月の開催数)

# 令和4年度事業について本協議会における1次評価および九州運輸局による2次評価

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事前評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
大分はとタクシー(株)、大分シティタクシー(株) (1)弓立ルート(通常便:戸次)	弓立～戸次の運行	<p>(令和2年度の事業評価結果) 評価の指標は、</p> <p>①年間利用者数 ②稼働率 ③地域検討会の開催状況 ④検討会等への参加者数</p> <p>毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を路線ごとに開催し、利用状況の確認及び運行日・時刻の見直しを行い、また、バス事業者とのワーキング会議などをもとに、利用者数の増加に向け沿線住民を対象とした、バス乗り方教室や時刻表の配布を実施し、幹線との乗り継ぎ時刻の調整を図るなど、利用促進に取り組まれていることを評価します。</p> <p>①年間利用者数、②目標稼働率の目標が、新型コロナウイルス感染症の影響で達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。</p> <p>今後について、With/Aftarコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。また、引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な旅客運送サービスの提供の確保がなされることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<p>●引き続き、ルートごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実績の評価及び検証</li> <li>・地域住民の利用ニーズの把握</li> <li>・次年度の運行計画の検討</li> <li>・利用促進</li> </ul> <p>●市内の新型コロナウイルス感染状況を見ながら、自治会と協議の上「運行説明会」の再開を検討するとし、新規利用者の拡大を図るため、事業内容や利用方法等について、登録者だけでなく地区全体への周知に努める。</p> <p>●引き続き、停留所に標柱・ベンチの設置を進め、利用環境の向上を図る。</p> <p>●引き続き、制度紹介チラシや利用状況報告のチラシを回覧するほか、自治会と連携し、地域への制度説明会を開催する等、広報活動を行うことで、地域全体への周知を図り、新規利用者の拡大に繋げる。</p>	<p>評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の利用者が参加する「地域検討会」を路線ごとに開催するなど、利用促進に取り組まれていることに対し評価します。</li> <li>・目標の一部が未達成となっている系統がありますが、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いします。</li> <li>・今後はwithコロナを前提として、可能な取組が実施されることで、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</li> </ul>
大分はとタクシー(株)、大分シティタクシー(株) (2)弓立ルート(通学便:戸次)	弓立～戸次の運行					
大分はとタクシー(株)、大分シティタクシー(株) (3)弓立ルート(通常便:判田)	弓立～判田局前の運行					
オーケーはとタクシー(株)、大分タクシー(株) (4)赤仁田ルート	赤仁田～判田局前の運行					
大分タクシー(株)、オーケーはとタクシー(株) (5)樫原ルート	樫原～判田局前の運行					
大分タクシー(株)、オーケーはとタクシー(株) (6)中野ルート	中野～戸次の運行					
大分シティタクシー(株) (7)延命寺ルート	延命寺～坂ノ市の運行					
クリスタルシティタクシー(株) (8)市尾ルート	木田南部～坂ノ市の運行					
クリスタルシティタクシー(株) (9)屋山ルート	屋山～坂ノ市の運行					
クリスタルシティタクシー(株) (10)折立ルート	折立～坂の市小学校前の運行					
クリスタルシティタクシー(株) (11)道尻ルート	道尻～坂の市小学校前の運行					
クリスタルシティタクシー(株) (12)一木ルート	一木～中向・浜入口の運行					
ワーカーズコープタクシー(有) (13)木佐上ルート(馬場:往路)	木佐上～馬場の運行					
ワーカーズコープタクシー(有) (14)木佐上ルート(馬場:復路)	木佐上～馬場の運行					
ワーカーズコープタクシー(有) (15)木佐上ルート(神崎中学校前:往路)	木佐上～神崎中学校前の運行					
ワーカーズコープタクシー(有) (16)木佐上ルート(神崎中学校前:復路)	木佐上～神崎中学校前の運行					
ワーカーズコープタクシー(有) (17)大志生木ルート	大志生木1～大志生木の運行					
クリスタルシティタクシー(株) (18)大黒ルート	大黒～佐賀関の運行					
野津原タクシー(有) (19)上石合ルート	屋形木～野津原支所の運行					
臼津交通(株) (20)臼関線	佐賀関～臼杵 (補助対象:大分市内のみ)	(令和2年度の事業評価結果) 同上	A	A	<p>●沿線住民への意識づけ 意見交換会開催後の利用状況の変化について効果検証を行う。利用状況やバス時刻表を回覧配布し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行う。</p> <p>●沿線施設との連携、利便性向上 バス利用を促進するため沿線施設(商業施設や病院)にバス時刻表を常備する。</p>	
臼津交通(株) (21)臼関線	佐賀関～下浦					
大分交通(株) (22)机張原線	5号地大交車庫前～田室町～机張原	(反映状況) 新たに沿線住民との意見交換会を開催し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行った。また、沿線住民へバス時刻表を回覧、配付し、住民の利便性向上や周知を行った。				
大分交通(株) (23)柞原線	5号地大交車庫前～田室町～柞原					
大分交通(株) (24)机張原線	5号地大交車庫前～西春日町～机張原					
大分交通(株) (25)柞原線	5号地大交車庫前～西春日町～柞原					
大分交通(株) (28)柞原線	大分駅前～新川～中大山					
大分交通(株) (29)机張原線	大分駅前～西春日町～下坂本					

生活交通確保維持改善計画の名称																																					
大分市地域内フィーダー系統確保維持計画																																					
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性																																					
<p>本市の郊外部には公共交通の利用が不便な地域が点在しており、地域の人口が減少する中で高齢者の免許返納者数は増加し、移動が困難な住民の日常生活における移動手段の確保が課題となっている。</p> <p>本市では、平成16年6月より、公共交通の利用が不便な地域において住民の日常生活の移動手段を確保し、買い物や通院その他外出の機会を促進するとともに市街地の活性化に資することを目的として「ふれあいタクシー運行事業」を開始した。事業開始後5年ほどが経過する中で、利用者から運行内容の改善やスクールバスとの乗り合わせなどを求める声が多く寄せられたことから、平成22年10月から平成24年3月までの間、「新コミュニティ交通運行実証実験事業」として、一部の地域において運行内容を改善し、その利用状況等の調査・検証を行った。</p> <p>この検証結果に基づき、平成24年4月から全市的に「ふれあい交通運行事業」を実施し、平成29年4月には運賃や利用要件等の制度拡充を行っている。</p> <p>市内の路線バスにおいては、近年、交通事業者単独による不採算路線の維持が厳しく、特に過疎地域及び交通不便地域の路線維持が課題となっている。さらには、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響による外出控えなどから公共交通の利用者が激減しており、交通事業者を取り巻く経営環境は益々厳しさを増している。</p> <p>このような中、本計画では、「ふれあい交通運行事業」及び「生活交通確保維持事業」の実施を通じて、本市における地域公共交通網の確保及び維持を図り、住民の利便性の向上や、日常生活に必要な移動手段を確保することを目的とする。</p>																																					
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果																																					
(1) 事業の目標																																					
1) ふれあい交通																																					
<p>①年間延べ利用者数約9,390人（弓立ルートにおいて、スクールバスとして利用している通学者等の延べ利用者数は除く）とする。</p> <p>※各ルートの令和4年度実績値については添付資料①参照</p> <p>※大分市地域公共交通計画では、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前（令和元年度）の実績値10,519人に基づき、令和8年度の目標を設定している。</p>																																					
<table border="1"> <caption>ふれあい交通利用者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人/年)</th> <th>目標値 (人/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>7701</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>8823</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>10188</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>10519</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>7834</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>8365</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>8280</td><td></td></tr> <tr><td>R5</td><td>8280</td><td></td></tr> <tr><td>R6</td><td>9390</td><td>9390</td></tr> <tr><td>R7</td><td>10500</td><td></td></tr> <tr><td>R8</td><td>10500</td><td></td></tr> </tbody> </table>		年度	実績値 (人/年)	目標値 (人/年)	H28	7701		H29	8823		H30	10188		R1	10519		R2	7834		R3	8365		R4	8280		R5	8280		R6	9390	9390	R7	10500		R8	10500	
年度	実績値 (人/年)	目標値 (人/年)																																			
H28	7701																																				
H29	8823																																				
H30	10188																																				
R1	10519																																				
R2	7834																																				
R3	8365																																				
R4	8280																																				
R5	8280																																				
R6	9390	9390																																			
R7	10500																																				
R8	10500																																				
<p>②運行可能日数に対する実績運行日数の率を58.7%以上とする。</p> <p>※添付資料①参照</p> <p>※実績運行日数の率が低いルートについては、利用の増加を目指した取組を実施する。</p>																																					

取組をしたものの利用がないルートについては、運行を廃止し、事業の効率化を図るものとする。

- ③地域検討会（定期利用者と運行計画を検討する会）を1ルートにつき毎年1回以上開催する。
- ④地域検討会、運行検討会及び運行説明会の年間延べ参加者数を600名以上とする。
- ⑤地域検討会の際に満足度調査を実施し、半数以上のルートにおいて、参加者のうち70%以上の住民に満足と回答いただけるよう、利用環境の向上に取り組む。《新規取組》
- ⑥低迷ルートの主な要因として、登録者の生活環境の変化に起因する例も多くあるが、四半期に一度、広報活動を行い、制度紹介や利用状況について周知することで、潜在的な利用者の発掘に努める。《新規取組》

	平成30年度 実績	令和元年度 実績値	...	令和4年度 実績値	...	令和6年度 目標値	...	令和8年度 目標値
延べ利用者数	10,188	10,519 (100%)	...	8,280	...	9,390 (89.4%)	...	10,500
地域検討会・運行検討会・ 運行説明会 延べ参加者数 ※	688 (100%)	—	...	707	...	603 (87.6%)	...	—

※地域検討会、運行検討会、運行説明会の参加者数については、目標値を上回る値を記録したが、新型コロナウイルス感染者数減少等による影響を考慮し、経過観察を図る。

運行系統名【補助対象系統のみ】	現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(1) 赤仁田ルート	492人	547人	579人	611人
(2) 檜原ルート	456人	507人	537人	567人
(3) 弓立ルート（通常便：戸次）	234人	260人	275人	291人
(4) 弓立ルート（通学便：戸次）	1,623人	1,623人	1,623人	1,623人
(5) 弓立ルート（通常便：判田）	83人	92人	98人	103人
(6) 中野ルート	399人	443人	470人	496人
(7) 上石合ルート	81人	90人	95人	101人
(8) 入蔵ルート	—	90人	96人	101人
(9) 市尾ルート	296人	329人	348人	368人
(10) 延命寺ルート	914人	1,016人	1,076人	1,136人
(11) 一木ルート	260人	289人	306人	323人
(12) 屋山ルート	1,023人	1,137人	1,204人	1,271人
(13) 折立ルート	184人	205人	217人	229人
(14) 道尻ルート	197人	219人	232人	245人
(15) 木佐上ルート（馬場：往路）	15人	17人	18人	19人
(16) 木佐上ルート（馬場：復路）	11人	12人	13人	14人

(17) 木佐上ルート（神崎中学校前：往路）	57 人	63 人	67 人	71 人
(18) 木佐上ルート（神崎中学校前：復路）	54 人	60 人	64 人	67 人
(19) 大志生木ルート	364 人	405 人	428 人	452 人
(20) 大黒ルート	290 人	322 人	341 人	360 人

## 2) 路線バス

### ①年間利用者数の目標値を定める。

運行系統名	現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(20) 臼関線（佐賀関～臼杵駅）	937 人	708 人	708 人	708 人
(21) 臼関線（佐賀関～下浦）	3,934 人	2,974 人	2,974 人	2,974 人

※添付資料①－2 参照（佐賀関～臼杵駅間については大分市内分のみ）

※現状値（令和4年度）において、目標値を上回る利用者数を記録したが、新型コロナウイルス感染者数減少等による影響を考慮し、大分市地域公共交通計画の目標値である令和2年度実績値（計 62,354 人/年）を目標維持し、経過観察を図る。

### ②年間利用者数の目標値を定める。

運行系統名	現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(22) 机張原線（5号地大交車庫前～田室町～机張原）	4,313 人	3,260 人	3,260 人	3,260 人
(23) 杵原線（5号地大交車庫前～田室町～杵原）	5,732 人	4,333 人	4,333 人	4,333 人
(24) 机張原線（5号地大交車庫前～西春日町～机張原）	30,200 人	22,830 人	22,830 人	22,830 人
(25) 杵原線（5号地大交車庫前～西春日町～杵原）	31,935 人	24,141 人	24,141 人	24,141 人
(26) 大分市内線（大分駅前～新川～中大山）	3,773 人	2,852 人	2,852 人	2,852 人
(27) 大分市内線（大分駅前～西春日町～下坂本）	1,661 人	1,256 人	1,256 人	1,256 人

※添付資料①－2 参照

※現状値（令和4年度）において、目標値を上回る利用者数を記録したが、新型コロナウイルス感染者数減少等による影響を考慮し、大分市地域公共交通計画の目標値である令和2年度実績値（計 62,354 人/年）を目標維持し、経過観察を図る。

### ●フィーダー補助系統の利用者数

大分市地域公共交通計画より

・目標値は、現状維持を目指し、62,354 人/年とする。

#### 【対象フィーダー補助系統】

- ・臼関線（佐賀関～臼杵駅）
- ・臼関線（佐賀関～下浦）
- ・机張原線（5号地大交車庫前～田室～机張原）
- ・杵原線（5号地大交車庫前～田室～杵原）
- ・机張原線（5号地大交車庫前～西春日町～机張原）
- ・杵原線（5号地大交車庫前～西春日町～杵原）
- ・大分市内線（大分駅前～新川～中大山）
- ・大分市内線（大分駅前～西春日町～下坂本）

※数値の算出は、補助金にあわせ10月～翌年9月とする



<p><b>(2) 事業の効果</b></p> <p>1) ふれあい交通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物や通院など地域住民の外出機会を創出し、安心して暮らすことのできる環境を確保する。</li> <li>・地域住民がふれあう機会を創出し、地域コミュニティを醸成する。</li> <li>・スクールバスの機能を統合することにより、効率的な運行及び利便性の向上が期待できる。</li> <li>・地域間幹線系統のバス停留所へ接続することにより、広域的な移動が可能となる。</li> <li>・地域検討会を開催することにより、地域住民が能動的に運行計画策定に携わることができる。</li> <li>・検討会や説明会の開催により、地域における課題の抽出や情報共有が図られる。</li> </ul>
<p>2) 路線バス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線維持及び幹線との連携により、沿線地域の生活利便性を確保することができる。</li> </ul>
<p><b>3. 上記2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体</b></p> <p>1) ふれあい交通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に地域住民と検討会を行い、地域の実情やニーズに沿った運行計画の策定を行う。(大分市)</li> <li>・地域住民へふれあい交通の制度や運行計画の周知活動。(大分市)</li> <li>・停留所への標柱、ベンチの設置を進め、利用環境の向上を図る。(大分市)</li> </ul>
<p>2) 路線バス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と運行事業者でワーキング会議を開催し、利用者の維持・確保に向けた取組を検討する。(大分市、バス事業者)</li> <li>・沿線住民へ利用実績の周知を図る。(大分市、バス事業者)</li> </ul>
<p><b>4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者</b></p> <p>2) 路線バス</p> <p>地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」</p> <p>①予定している時刻表 添付資料②-2参照 添付資料②-3参照</p> <p>②運行事業者決定の経緯 当該地域を運行する路線バス運行事業者に決定</p> <p>③運行予定期間 令和6年度：令和5年10月1日～令和6年9月30日 令和7年度：令和6年10月1日～令和7年9月30日 令和8年度：令和7年10月1日～令和8年9月30日</p>
<p><b>5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者</b></p> <p>1) ふれあい交通</p> <p>運行事業者への委託料は、運行経費から運行収入及び国庫補助金を差し引いた額とし、大分市が負担する。</p>
<p>2) 路線バス</p> <p>運行事業者への補助額は、運行にかかる経常費用から経常収益及び国庫補助金を差し引いた額とし、大分市が負担する。</p>

6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称
大分はとタクシー株式会社 大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 クリスタルシティタクシー株式会社 ワーカーズコープタクシー有限会社 有限会社野津原タクシー 臼津交通株式会社 大分交通株式会社
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 <b>【活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】</b>
該当なし
8. 別表1の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 <b>【地域間幹線系統のみ】</b>
該当なし
9. 別表1の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧 <b>【地域間幹線系統のみ】</b>
該当なし
10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項
該当なし
11. 外客来訪促進計画との整合性 <b>【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】</b>
該当なし
12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 <b>【地域内フィーダー系統のみ】</b>
地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」
13. 車両の取得に係る目的・必要性 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
該当なし
14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>
(1) 事業の目標
該当なし
(2) 事業の効果
該当なし

15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の負担者 <b>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>	
該当なし	
16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） <b>【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>	
該当なし	
17. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>	
該当なし	
18. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>	
該当なし	
19. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 <b>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</b>	
該当なし	
20. 協議会の開催状況と主な議論	
・令和5年6月21日（令和5年度第1回大分市地域公共交通協議会）生活交通確保維持改善計画【大分市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）】について	
21. 利用者等の意見の反映状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふれあい交通」地域検討会の開催 定期的に利用している住民を選定のうえ、計31箇所、延べ253名を対象に開催し、意見を運行計画に反映させた。</li> <li>・「ふれあい交通」運行検討会及び運行説明会の開催 ルート新設にあたり、利用希望者を対象に、時刻表や停留所位置についての協議を行う運行検討会や利用方法の説明を行う運行説明会を開催した。</li> </ul>	
22. 協議会メンバーの構成員	
大分市長又はその指名する者	大分市（都市計画部長）
一般乗合旅客自動車運送事業者その他一般旅客自動車運送事業者	大分バス株式会社
	大分交通株式会社
	臼津交通株式会社
一般旅客定期航路事業者	株式会社フェリーさんふらわあ
	国道九四フェリー株式会社
一般旅客自動車運送事業者の組織する団体	一般社団法人大分県バス協会
	大分市タクシー協会
	大分個人タクシー協同組合
鉄道事業者	九州旅客鉄道株式会社大分支社
住民又は利用者の代表	大分市自治会連合会
	大分市消費者団体連絡協議会
	社会福祉法人大分市社会福祉協議会

	大分市老人クラブ連合会
	n a a n a パートナー
	大分商工会議所
	大分県高等学校 P T A 連合会
国土交通省九州運輸局大分運輸支局長又はその指名する者	国土交通省九州運輸局大分運輸支局
大分県知事又はその指名する者	大分県企画振興部
一般旅客自動車運送事業者の運転者が組織する団体	全国自動車交通労働組合総連合大分地方連合会
	大分バス労働組合
	大分交通労働組合
道路管理者	国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所
	大分市（土木建築部長）
港湾管理者	大分県大分土木事務所
大分県大分中央警察署長又はその指名する者	大分県大分中央警察署
大分県大分東警察署長又はその指名する者	大分県大分東警察署
大分県大分南警察署長又はその指名する者	大分県大分南警察署
学識経験者	国立大学法人大分大学

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）〒870-8504 大分県大分市荷揚町 2 番 3 1 号

（所 属）大分市 都市計画部 都市交通対策課

（氏 名）朝見 樹、幸 浩史朗

（電 話）097-578-7795

（e-mail）tosikotu@city.oita.oita.jp

## ■事業目標値の根拠について

(地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果)

ルート名	実績値(令和4年4月～令和5年3月)				令和6年度 目標値	
	運行可能日数 (日:①)	実績運行日数 (日:②)	率 (②/①)	のべ利用者数	運行日数の率	のべ利用者数
1 赤仁田	98	95	96.9%	492	96.9%	547
2 檜原	98	80	81.6%	456	81.6%	507
3 弓立	148	109	73.6%	317	73.6%	352
4 中野	97	94	96.9%	399	96.9%	443
5 端登	100	71	71.0%	326	71.0%	362
6 大内	100	59	59.0%	180	59.0%	200
7 旦野原	144	0	0.0%	0	20.8%	30
8 塚野	104	0	0.0%	0	19.2%	20
9 摺	95	24	25.3%	98	25.3%	109
10 朝海	99	52	52.5%	118	52.5%	131
11 高沢	145	82	56.6%	311	56.6%	346
12 舟ヶ平	51	2	3.9%	4	19.6%	10
13 上石合	101	27	26.7%	81	26.7%	90
14 入蔵	-	-	-	-	26.7%	90
15 市尾	197	114	57.9%	296	57.9%	329
16 延命寺	150	147	98.0%	914	98.0%	1016
17 畑	150	86	57.3%	216	57.3%	240
18 一木	97	80	82.5%	260	82.5%	289
19 屋山	198	192	97.0%	1,023	97.0%	1137
20 折立	191	76	39.8%	184	39.8%	205
21 道尻	148	96	64.9%	197	64.9%	219
22 家島	147	104	70.7%	326	70.7%	362
23 葛木	98	11	11.2%	18	20.4%	20
24 堂園	148	12	8.1%	21	20.3%	30
25 広内	145	10	6.9%	14	34.5%	50
26 庄の原	100	84	84.0%	255	84.0%	283
27 上白木	100	93	93.0%	276	93.0%	307
28 望みが丘	101	49	48.5%	104	48.5%	116
29 曙台	148	136	91.9%	532	91.9%	591
30 木佐上	150	64	42.7%	137	42.7%	152
31 大志生木	99	92	92.9%	364	92.9%	405
32 大黒	99	75	75.8%	290	75.8%	322
33 福水	95	37	38.9%	71	38.9%	79
計(率は平均)			56.4%	8,280	58.7%	9,390

注1) 弓立ルートの実績には、スクールバスとして運行している通学便等の運行日数及び通学生等ののべ利用者数は含まず。

注2) 上記各ルートにおいて、定期的に利用者から構成する「地域検討会」を毎年1回以上開催し、運行計画の見直し、検討を行う。

## ■事業目標値の根拠について

(地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果)

ルート名		輸送人員の実績値				令和6年度 目標値
		令和元年度 (平成31年度) H30.10～R1.9	令和2年度 R1.10.～R2.9	令和3年度 R2.10.～R3.9	令和4年度 R3.10.～R4.9	
20	臼関線 (佐賀関～臼杵駅)	1,316	1,305	968	937	708
21	臼関線 (佐賀関～下浦)	8,112	5,712	3,893	3,934	2,974
22	机張原線 (5号地大交車庫前～田 室町～机張原)	10,736	4,628	2,471	4,313	3,260
23	柞原線 (5号地大交車庫前～田 室町～柞原)	3,099	4,202	1,888	5,732	4,333
24	机張原線 (5号地大交車庫前～西春 日町～机張原)	12,827	8,274	16,413	30,200	22,830
—	机張原線 (大分駅前～西春日町 ～机張原)	14,154	9,829	4,669	—	
25	柞原線 (5号地大交車庫前～西春 日町～柞原)	4,925	3,697	17,305	31,935	24,141
—	柞原線 (大分駅前～西春日町 ～柞原)	24,540	21,840	10,343	—	
26	大分市内線 (大分駅前～新川～中 大山)	1,262	1,114	1,206	3,773	2,852
27	大分市内線 (大分駅前～西春日町 ～下坂本)	8,086	1,753	1,534	1,661	1,256
計		89,057	62,354	60,690	82,485	62,354

※佐賀関～臼杵駅間については大分市内分を距離按分にて算定

※現状値(令和4年度)において、目標値を上回る利用者数を記録したが、新型コロナウイルス感染数減少等による影響を考慮し、大分市公共交通計画の目標値である令和2年度実績値(計62,354人/年)を目標維持し、経過観察を図る。